

第4号

昭和60年2月25日(月)

瑞山会会報

編集発行 / 名古屋市立大学経済学部同窓会・瑞山会編集部
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1(名古屋市立大学経済学部内)



20周年記念祝賀会に多数の会員の参加を

3月24日・都ホテル

名市大経済学部は昭和三十九年の四月第一期生が入学した。今年九二十年である昨年、村田学部長から「卒業式の前日学部創立二十年の祝賀会がやりたいが同会も一緒に参加してもらえないだろうかとの申し入れをいただいた。

こういつた時、学部で協力するのは本の目的でもあるので、理事会にはかったえ、喜んで参加させていただく旨ご返事し上げた。

二十年前の四月、僕らは、海のもの山のものともわからない新設の市大経済部へ、多少の年負いと純な期待を胸に入した。あの日、旧名高商時代から使用している講堂の前でとったクラス写真をみる全員学生服に身をつつま心なしか高ぶっている様にみえる。

その後、僕らはそれぞれの人生をさまざまに生き、ようやく働き盛りといわれる代に達し、人生の折り返し点に立った。

市大経済学部が社会的にどう評価されているか正しくは知らない。しかし、経済部に対する毀誉褒貶の過半の責任は僕ら期生にあると思っている。

いま改めて、二十年前の気負いと高ぶるを思い返し、残る後半生を悔いなく生きたいと思っている。

ともあれ、三月二十四日、都ホテルに多数の元気な同窓諸兄弟の顔をそろえ旧を温めたいものである。(一期 栗野泰次

昭和58年度

通常総会議事報告

日時 五十八年十一月二十三日(日)
場所 都ホテル

経過報告 一、瑞山会名簿の発行

二、瑞山会会報の発行

三、特別・正会員に対する慶弔

四、卒業祝賀会助成

事業計画 追録・会報の発行など

例年の事業とさらに進んで次の

三項目を強調しました。

一、地域別・職場別支部結成への

助成

二、会員親睦会助成の実施(ゴルフ

コンペ等、ただし会員親睦

会助成支出基準適用内)



三、事業部新設の検討

会計報告 次頁の通り

新代議員 卒業者による追加

中谷利顕 塩見ゼミ 十六期

小林章裕 芝原 "

鈴木宏文 松永 "

荻谷 浩 塩見 "

樺山孝雄 根津 "

盛り上った

懇親会

時は、昭和五十八年十一月二十

三日、勤労感謝の日。

午後三時から都ホテル二階の銀

嶺の間で開かれました同窓会総会

続いて行なわれました城山三郎氏

の記念講演も万雷の拍手で終わり

ましたのは夕方の五時。窓の外は

はや冬の夜となり、ビルの明りの

輝きが増す頃、懇親会の始まりま

す時刻となります。

総会に出席しました百三十名余の同窓生は、三階の紫雲の間へと所を移しました。

扉を開けると、部屋の正面、舞

台の上には、「昭和五十八年度瑞山

会総会」と書かれた横幕、中央に

は、コの字に並べられたテーブル

の上に料理の山―ハム、サーモン、

グラタン、カナッペ、寿司、サン

ドイッチ等―、それを取囲んで、

ビール、ジュースの置かれた丸テ

ーブル、右の壁際には、そばの屋

台、ケーキ、フルーツのテーブル。

舞台の下、向かって右側には、

本日の音楽を受持ます女性二人を

含む名市大の軽音楽部の五人の面

々、正面には、司会を受持ます、

赤と黒の衣装を着けました双子の

美人、ドーナツが控えて、懇心会

の始まるのを、今や遅しと待受け

ております。

今の学部長の妙見教授がドーナ

ツの司会で舞台上にすり挨拶をしま

すと、皆グラスを手にしまして、

長坂顧問の音頭で乾杯をします。

いよいよ、懇親会の始まりです。

軽音楽部の演奏をバックに、あ

ちらこちらで、久しぶりに顔を会

わせた仲間や先生―今では京大の

助教教授となられた大山先生の顔も



見えます―が、料理の乗った皿を左手に、飲物の入ったグラスを右手、話の花を咲かせております。

その間を縫うように、ホテルの

メイドが、空になった皿をかたず

け、ウイスキーの水割りを運んで

おります。

編集部員の撮る写真のフラッシ

ユが、あちらこちらで光ります。

軽音楽部の演奏あり、ドーナツ

の歌ありで、会もいよいよ賑やか

になっていきます。

アルコールに酔ったのか、雰囲気

気に酔ったのか、カラオケをバッ

クに歌も始まります。

二人で歌う者、ドーナツとテュ

エットする者、同期の仲間や歌う

者、同じゼミの仲間や歌う者、様



々であります。

もう蜂の巣を突いたような騒

であります。

知らないうちに時も過ぎ、会

終わる時刻となりまして、全員

万歳三唱となります。

しかし、まだ話し足りないの

飲み足らないのか、あるいはこ

ままでは別れ難いのか、四人、一

人と連れ立って、二次会へと、

の町へと出て行くのであります。

なお、この後に、「写真館」

して、懇親会のスナップ写真が

載っておりますので、出席され

方は当日の事を思い出しながら

出席できなかった方は、その雰

気を感じ取りながら、ご覧下さ

会計報告

収支計算書

収支予算書

収入の部

勘定科目	決算期	第 5 期 (昭和57年度)	第 6 期 (昭和58年度)	第 7 期 (昭和59年度)
会 費 収 入		3,123,930	2,805,930	2,000,000
(新 入 学 生)		(2,050,000)	(2,060,000)	(2,000,000)
(会 費)		(1,073,930)	(745,930)	0
会 費 外 収 入		670,868	902,122	750,000
基金積立金とりにくずし		0	1,082,359	1,090,000
計		3,794,798	4,790,411	3,840,000

支出の部

勘定科目	決算期	第 5 期	第 6 期	第 7 期
名簿発行費引当金		500,000	600,000	600,000
名簿追録発行費		0	117,000	150,000
会 報 発 行 費		0	135,000	150,000
総 会 費		86,592	1,494,895	1,000,000
新卒業生祝賀会費		206,400	205,270	200,000
通 信 費		379,480	1,509,230	710,000
事 務 運 営 費		733,439	570,042	530,000
名 簿 発 行 費		188,800	0	0
そ の 他		529,336	158,974	500,000
(小 計)		(2,624,047)	(4,790,411)	(3,840,000)
基 金 積 立 金		1,170,751	0	0
計		3,794,798	4,790,411	3,840,000

基金積立金明細

勘定科目	決算期	第 5 期	第 6 期
現 金		29,844	0
普 通 預 金		987,443	162,982
郵便振替口座		1,073,930	362,000
定 額 預 金		1,000,000	1,000,000
定 期 預 金		4,450,384	3,466,524
割引信用債券		2,468,180	2,597,322
金 銭 信 託		958,805	327,399
貸 付 信 託		5,000,000	6,000,000
計		14,398,586	13,316,227

昭和五十八年度 通常総会、盛大に開催

我々、名市大経済学部は、昭和三十九年四月設立以来、二十周年を迎えました。

この間、高度成長経済から、低成長経済に移行し、我々が、実社会で求められる課題は、広範囲かつ複雑になっています。

我々同窓の連帯のもと、この困難な時代を乗り切り、新しい時代を築いていく必要があります。

名市大経済学部同窓会として、今後のあるべき活動を問う声も聞かれる昨今であります。

ところで、瑞山会は、設立五年を迎え、去る五十八年十一月二十三日に、今年度記念総会を、名古屋都ホテルにおいて開催しました。栗野会長挨拶と会計部会計報告等の総会、経済小説家城山三郎氏の記念講演、懇親会の順に進行しました。

なお、瑞山会役員も若く、社会において多忙な位置にある中で、十分な活動には不足気味でありましたが、瑞山会会員全員の協力で、瑞山会をより一層発展させていたきたいと思います。



城山三郎氏による記念講演

瑞山会事業部から

お知らせ

この度、会員の皆様の親睦を目的として、事業部を新設しました。昭和五十三年十一月、瑞山会は設立以来、順調に推移してきて居りますが、会員が集う親睦の機会を、積極推進したく設けた次第です。会員親睦会には、瑞山会より助成金を出して居ります。春秋二回開催の名市大OB会ゴルフコンペは、既にその実績を得ています。会員親睦会助成基準は、最新会の会員名簿に載せてありますが、念のため下記します。

一、会員であれば誰でも参加できる事。

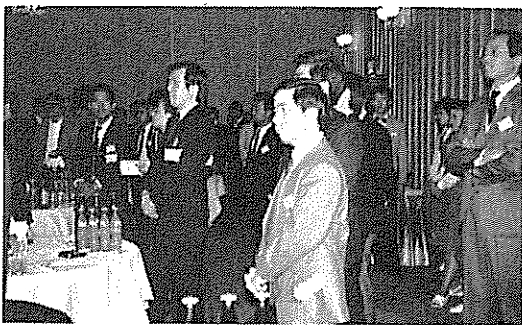
二、会報等で呼びかけ、かつ事後

に結果報告ができる事。

三、総会で報告する事。

四、理事会の確認を得て、瑞山会後援の形がとれる事。

たゞ今、テニス大会を企画していきますので、近々、皆様にご案内できると思います。ほかにも、家族同伴の動会、大学祭模擬店のOBのコナー、藝科にある野外教育施設「蓼名荘」を利用しての各種催し物、等の意見を温存中ですが皆様のご参加がなければ意味がありません。瑞山会の一層の発展の爲にも、皆様の積極的参加と、ご意見ご希望を、瑞山会準備局事業部あて、お寄せ下さいませ様、お待ちしております。



▲総会の懇親会

求人欄

日頃、同じ会社又は関連する社の人間とだけ、話をする事多い我々サラリーマン族にとつ異なる職種、職業の人間と話をすることは、考え方の固定化を防ぐことになる。

同窓会では、青春を共にした間であり、知的水準も同程度であり、腹藏なく意見交換ができるだろう。その為にも、多くの同生の参加を期待する。

今回は、君が参加する！



お知らせ

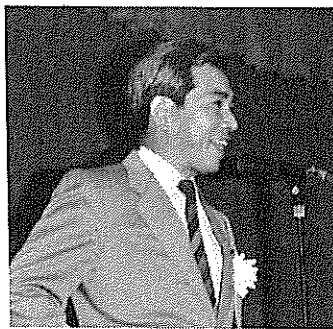
瑞山会協賛、名市大OB会ゴルフコンペを、次の通り開催予定して居りますので、奮って御参加下さい。

時・昭和六十年四月三十一日

所・瑞浪高原C・C

事前に往復ハガキにて、御案内しますが、詳細確認につきましては、下記幹事宛に御照会下さい。

石原 正基(第一期生)
加賀 亮(第二期生)



▲上村教授



▲大山元助教

